



永井久美子

報告者 総合文化研究科 准教授

——三島由紀夫の例から考える

作家の身体と新聞報道

2/25(金)
17:30 - 19:30
オンライン開催



作家の身体と新聞報道 ——三島由紀夫の例から考える

報告者：永井久美子（総合文化研究科准教授）

三島由紀夫（1925~1970）の写真は、没後も現代に至るまで新聞各紙に多数掲載されている。30代以降、ボディビルやボクシング、剣道に取り組み、細江英公や篠山紀信、矢頭保に鍛え上げた自身をモデルとした写真を撮影させている三島だが、生前新聞には顔のみの写真が掲載されることも多く、彼がいかなる身体の持ち主であったかは、新聞から窺い知ることは比較的難しい状況にあった。三島の場合は、作家としてのみならず、俳優として、政治活動家としても記事に取り上げられる点に特徴がある。新聞における人物紹介のあり方と、文学、演劇、政治の文脈ごとの報道の傾向の差異について、三島を例に考察する。

2/25(金)
17:30 - 19:30
オンライン開催

2/23(水)までに
QRコード先のフォームから
お申し込みください。

画像：Wikimedia Commons
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mishima_Yukio_1948.JPG
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Yukio_Mishima_01.jpg
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mishima_Yukio.JPG
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Yukio_Mishima,_1955.jpg
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Ishihara_Mishima.jpg
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mishima_Yukio_1970.jpg

主催：東京大学ヒューマニティーズセンター
humanitiescenter.utokyo@gmail.com

